

## <児童アンケートの結果に関する考察>

○「学校へ行くのは楽しい」と肯定的に答えている児童が昨年度よりさらに2ポイント向上し98%とかなり高い。今後も児童が「学校が楽しい」と思える学校経営をめざしていく。ただ、若干ではあるが「やや楽しくない」と思っている児童がいる。そのことも常に意識しながらその原因を取り除く工夫や努力をしていく。

○「タブレットを使って学習するのは楽しい」と肯定的にとらえている児童は非常に多い。一人1台のタブレット端末を使用する頻度が高まっているからであろう。しかし、タブレット端末の故障や不具合、未充電などのトラブルもあることなどから、ICT活用能力に差が生じないように授業改善を進めていきたい。

○先生（教員）に対しての評価が、いずれの項目も高い。教職員と児童との信頼関係が築けているためだと考えられる。授業や生徒指導を行う上で、最も大切となる基盤が構築できている。日頃の地道な努力が現れたと言えるだろう。

○「自分のことをわかってくれる友だちがいる」「誰とでも仲良く、遊んだり学習したりしている」「友だちのよいところを認めるようにしている」の項目で、あてはまると答えた児童が増えた。それぞれの学級で仲間づくりを進めてきた成果であると考えられる。今後も道徳教育や人権教育の充実に努めたい。

○「先生や友だち、地域の人に元気よくあいさつをしている」の項目はポイントが、昨年度に比べ、10ポイント向上している。今後も継続して取り組み、元気よくあいさつすることが苦手と感じている児童を支えていきたい。

○「進んで運動に取り組み、体をきたえている」の項目もポイントが、昨年度に比べ大幅に上がっている（9ポイント増）。持久走大会などでも、そういったことが現れていたように思う。みんなと一緒に運動し、体力をつけることの大切さが少しずつ浸透しているのではないかと。さらにポイントが上がるよう継続して指導していきたい。

△「授業中、話をしている人（先生や友だち）を見て、話を聞いている」の項目はポイントが、昨年度に比べ、高評価が3ポイント減った（A評価は8ポイント向上したが、B評価は11ポイント大きく減った）。個人による格差が広がらないよう授業に工夫をしていくようにしたい。

△「トイレのスリッパをそろえている」の項目が、3ポイント下落した。学級での整理整頓とともに、公共物を大切に使ったり、美化に努めるなど公共心の向上を図りたい。

△「命の大切さを考え、健康や安全に気をつけて生活している」の項目はポイントが、昨年度に比べ、高評価が5ポイント減った。登下校時に列を乱したりおしゃべりをしながら歩いたりしない等、交通ルールを守るだけでなく、廊下を走ったり教室であばれたりしないなど、学校でのルールをきちんと守ることなど、安全指導を十分に行い、安全面に気をつけて児童自らが考え、主体的に判断できるように指導していくことが大切である。